

報道関係者各位

(本資料は米国で発表された報道資料の抄訳です)

2020年5月20日
ボストン コンサルティング グループ

世界資産運用市場: 2019年末の預り資産額は前年比15%増、日本は12%増 2020年は先行き不透明～BCG調査

危機を乗り越え、さらなる成長を目指すには抜本的な改革が必要

ボストン発、2020年5月19日 —— 経営コンサルティングファームのボストン コンサルティング グループ(以下、BCG)は、グローバルアセットマネジメント・レポートの2020年版「*Global Asset Management 2020: Protect, Adapt, and Innovate*」(以下、レポート)を発表しました。

2019年末の世界の運用預り資産額は前年比15%増の88.7兆ドル、日本では12%増

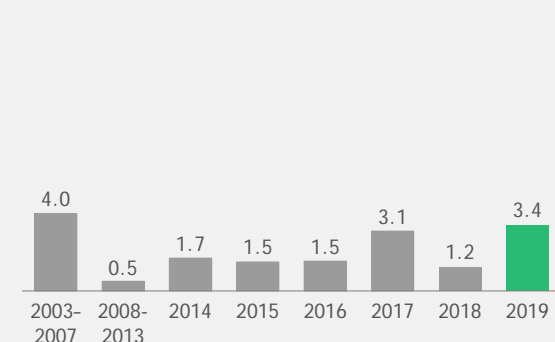
2019年末の運用預り資産額は88.7兆ドルと推計され、2018年の76.9兆ドルから15%の増加となりました(図表)。調査対象のほぼすべての地域で2桁の増加が見られ、日本でも12%増を記録しました。主要要因は市場の好調なパフォーマンスだったと調査チームでは分析しています。新規流入資金は、年初の運用預り資産の3.4%と推計され、2018年の同1.2%を大きく上回りました。

図表: 2019年末の世界の運用預り資産額は88.7兆ドル

世界の運用預り資産額推移 (兆ドル)



年初の運用預り資産額に対する新規流入資金の割合 (%)



注: 運用預り資産額とは、運用会社が委託を受け、運用報酬を受け取って運用する資産の額。保険会社や年金ファンドが、運用報酬を支払って自社グループの運用会社に運用を委託するケースも含まれる。通貨換算に当たっては、2019年12月末の為替レートを過去にさかのぼって適用。為替レートや、推計手法の改善、データソースの変更により、過去の本レポートの推計値と今回の推計値が合致しないことがある

出所: ボストン コンサルティング グループ Global Asset Management Market-Sizing Database 2020、ボストン コンサルティング グループ Global Asset Management Benchmarking Database 2020

© Boston Consulting Group 2020 - All Rights Reserved.

オルタナティブ商品には今後中期的に資金が流入

アクティブ商品からパッシブ商品へという長期的トレンドは持続しています。一方で、今後、中期的に資金流入が見込まれるのはオルタナティブ商品です。2019年末にはオルタナティブ商品の預り資産

額は前年から13%拡大しました。これにより預り資産額ベースのシェアは16%となりましたが、手数料におけるシェアは46%に上ると推計されます。レポートではオルタナティブ商品の運用預り資産は2024年にかけて年平均成長率4%のペースで拡大を続け、手数料シェアは49%に上昇すると分析しています。

危機を乗り越え、さらなる成長を目指すには抜本的な改革が必要

運用会社は、新型コロナウイルス感染拡大による経済の混乱を生き抜き、危機後により強い企業としてのポジションを築くために、多くの側面で打ち手を講じる必要があります。レポートでは、30日まで、90日まで、180日までという3つの局面に分け、運用会社のゲームプランを提示しています。

レポートではさらに、パフォーマンスやコストといったこれまでの競争優位性に加え、今後は優れた顧客体験を通じた販売における優位性が新たな流れとなると指摘し、5つのベストプラクティスをあげて解説しています。

■ 調査レポート

「Global Asset Management 2020: Protect, Adapt, and Innovate」

<https://www.bcg.com/publications/2020/global-asset-management-protect-adapt-innovate.aspx>

■ 日本における担当者

栗原 勝芳 マネージング・ディレクター & パートナー



BCG 金融グループ、保険グループ、およびコーポレートファイナンス&ストラテジーのコアメンバー。

東京大学経済学部卒業。株式会社大和証券グループ本社、外資系コンサルティングファームを経て現在に至る。

■ ボストン コンサルティング グループ (BCG) について

BCG は、ビジネスや社会のリーダーとともに戦略課題の解決や成長機会の実現に取り組んでいます。BCG は 1963 年に戦略コンサルティングのパイオニアとして創設されました。今日、BCG の支援領域は、変革の推進、組織力の向上、競争優位性構築、収益改善をはじめとしてクライアントのトランスフォーメーション全般に広がっています。

BCG のグローバルで多様性に富むチームは、産業や経営トピックに関する深い専門知識と企業変革を促進する洞察を有します。これらに加え、テクノロジー、デジタルベンチャー、パーパスなどの各領域の専門組織も活用し、クライアントの経営課題に対しソリューションを提供します。経営トップから現場に至るまで、BCG ならではの協働を通じてクライアント組織に大きなインパクトを生み出しています。日本では、1966年に世界第2の拠点として東京オフィスを、2003年には名古屋に中部・関西オフィスを設立しました。

<https://www.bcg.com/ja-jp/default.aspx>

■ 本件に関するお問い合わせ

ボストン コンサルティング グループ マーケティング 直江・嶋津・福井

Tel: 03-6387-7000 / Fax: 03-6387-0333 / Mail: press.relations@bcg.com